



株式会社 UKCホールディングス

## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成27年7月31日

上場会社名 株式会社UKCホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3156 URL <http://www.ukcgroup.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部門長 (氏名) 大澤 剛 TEL 03-3491-6575  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	69,889	8.6	1,434	△7.2	1,535	9.2	1,147	24.5
27年3月期第1四半期	64,339	△12.5	1,545	△14.9	1,406	△22.6	921	△26.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,246百万円 (56.7%) 27年3月期第1四半期 795百万円 (△54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	73.09	—
27年3月期第1四半期	58.72	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	129,841	57,292	43.8	3,626.91
27年3月期	131,784	56,370	42.5	3,565.03

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 56,932百万円 27年3月期 55,962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	145,000	10.0	2,900	17.0	2,800	△1.3	1,900	6.9	121.03
通期	300,000	6.9	6,500	16.5	6,300	1.1	4,200	4.0	267.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	15,700,021株	27年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,661株	27年3月期	2,491株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	15,697,443株	27年3月期1Q	15,698,156株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益、雇用情勢、設備投資の改善などによりおおむね緩やかな回復基調が続きました。海外に目を転じますと、中国経済の一段の減速やギリシャ問題等が世界経済の下振れリスクとなっております。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、その牽引役をスマートフォンに依存する傾向が続いておりますが、足下では中国のスマートフォン市場の成長が鈍化しています。その一方で、自動車分野では、電子技術の搭載による情報化や自動化の潮流が顕著であり、市場の拡大が期待されます。

このような状況の下、当社グループは、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場におけるEMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、外部提携も含めた新規事業の創出に引き続き注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は698億89百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は14億34百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益は15億35百万円（前年同期比9.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億47百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

#### ・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、主に海外のスマートフォン向け製品の販売が回復したことにより増収となりました。セグメント利益は、高利益製品の売上高の減少により減益となりました。

以上の結果、売上高は666億63百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は16億52百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

#### ・電子機器事業

電子機器事業におきましては、顧客の需要の回復により増収となりました。

以上の結果、売上高は30億13百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント損失は1億75百万円（前年同期比72百万円の改善）となりました。

#### ・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネー関連ビジネスが引き続き好調に推移し、売上は大きく伸長しました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、売上が減少しました。セグメント利益は、先行投資等により販売費及び一般管理費が増加したことに伴い、減益となりました。

以上の結果、売上高は7億77百万円（前年同期比27.3%増）、セグメント利益は12百万円（前年同期比70.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して19億43百万円減少し、1,298億41百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少29億83百万円、受取手形及び売掛金の減少17億50百万円、たな卸資産の増加28百万円、その他流動資産の増加26億22百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して28億64百万円減少し、725億48百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少67億9百万円、短期借入金の増加49億24百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億54百万円、未払法人税等の減少5億7百万円、長期借入金の減少1億54百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して9億21百万円増加し、572億92百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益11億47百万円、利益剰余金からの配当3億13百万円、その他有価証券評価差額金の増加92百万円を主要因としたその他の包括利益累計額の変動額1億37百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,542	24,559
受取手形及び売掛金	71,857	70,107
商品及び製品	17,716	17,543
仕掛品	479	629
原材料及び貯蔵品	786	838
その他	5,609	8,232
貸倒引当金	△263	△260
流動資産合計	123,728	121,649
固定資産		
有形固定資産	2,441	2,432
無形固定資産	385	426
投資その他の資産		
投資有価証券	4,159	4,285
その他	2,456	2,444
貸倒引当金	△1,387	△1,398
投資その他の資産合計	5,229	5,332
固定資産合計	8,055	8,191
資産合計	131,784	129,841
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,563	36,853
短期借入金	18,617	23,542
1年内返済予定の長期借入金	970	816
未払法人税等	1,035	528
賞与引当金	387	196
その他	2,747	2,662
流動負債合計	67,322	64,599
固定負債		
長期借入金	7,104	6,949
退職給付に係る負債	299	291
役員退職慰労引当金	35	36
その他	651	671
固定負債合計	8,091	7,948
負債合計	75,413	72,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	41,273	42,107
自己株式	△3	△4
株主資本合計	51,996	52,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	894	987
為替換算調整勘定	3,045	3,090
退職給付に係る調整累計額	25	25
その他の包括利益累計額合計	3,965	4,103
非支配株主持分	408	359
純資産合計	56,370	57,292
負債純資産合計	131,784	129,841

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	64,339	69,889
売上原価	59,982	65,556
売上総利益	4,357	4,333
販売費及び一般管理費	2,811	2,898
営業利益	1,545	1,434
営業外収益		
受取利息	23	21
受取配当金	22	15
仕入割引	2	1
為替差益	—	116
その他	54	34
営業外収益合計	101	189
営業外費用		
支払利息	66	71
売上債権売却損	0	1
為替差損	167	—
その他	6	16
営業外費用合計	240	88
経常利益	1,406	1,535
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	0	—
会員権評価損	1	—
その他	0	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	1,404	1,535
法人税等	524	427
四半期純利益	879	1,108
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	△38
親会社株主に帰属する四半期純利益	921	1,147



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	879	1,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	92
為替換算調整勘定	△94	45
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	△84	137
四半期包括利益	795	1,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	837	1,285
非支配株主に係る四半期包括利益	△42	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,356	2,372	610	64,339	—	64,339
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6	331	—	337	△337	—
計	61,362	2,703	610	64,676	△337	64,339
セグメント利益又は損失 (△)	1,806	△248	42	1,600	△55	1,545

(注) 1. セグメント利益の調整額△55百万円には、セグメント間消去取引△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,639	2,564	685	69,889	—	69,889
セグメント間の内部売 上高又は振替高	24	448	92	565	△565	—
計	66,663	3,013	777	70,445	△565	69,889
セグメント利益又は損失 (△)	1,652	△175	12	1,489	△55	1,434

(注) 1. セグメント利益の調整額△55百万円には、セグメント間消去取引△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△52百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成27年4月1日付で、株式会社UKCエレクトロニクス（現 株式会社UKCテクノソリューション）の半導体及び電子部品事業を吸収分割の手法により承継いたしました。

当社はこれまで純粋持株会社として、当社グループの事業活動を支配・管理することを事業目的としておりましたが、当該吸収分割により半導体及び電子部品事業を承継したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「半導体及び電子部品事業」に帰属しております。これにより、従来「調整額」に含めていた当社が連結子会社から受け取る業務受託収入及び全社費用の一部を、「半導体及び電子部品事業」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性がないため記載を省略しております。